

2021 年度 個人研究実績・成果報告書

2022 年 4 月 22 日

所属	商経学部	職名	教授	氏名	山内 真理
研究課題	テクノロジーを利用した外国語学習：オンライン言語文化交流・ゲーム型学習の有効活用：自律的な言語学習者の育成に向けて				
研究キーワード	TELL, ゲーム型学習, 外国語不安, 学習サイクル	当年度計画に対する達成度	2.順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が達成できた		
関連するSDGs項目	4. 質の高い教育をみんなに	10. 人や国の不平等をなくそう	該当なし	該当なし	

1. 研究成果の概要

2021 年度のオンライン言語文化交流は、コロナ禍前に主軸としていた録画交換の形ではプロジェクトを実施せず、2020 年度から試行を始めた Zoom 交流を授業に組み込む形をとった。また、録画を利用したアウトプット活動・非同期コミュニケーション活動 (Flipgrid 利用) 自体は 2020 年度から授業に取り入れており、次年度は Zoom での同期型コミュニケーションと Flipgrid 交流の比較を含めて実践研究を行う予定である。

ゲーム型学習については、2021 年度も Duolingo および Kahoot! の活用を中心として授業活動の一環として実施した。2019 年度・2020 年度は Duolingo の活用に個人差が見られたが、2021 年度は Teams の課題に組み込み、毎回のフィードバックをルーティン化することで習慣化を促進できたと考えている。Kahoot! (2021 年度は遠隔授業での実施) は想起のスピードアップ (流暢性向上) を意識させることで、楽しむだけでなく目標をもった取り組みを促し、スキル向上の実感にもつなげることができた。

自作のオンライン教材の蓄積・整備も進み、それらを共有する一種のチームティーチングや複数教員での協力による教材の共同開発にも着手できた。

2. 著書・論文・学会発表等 (査読の有無及び海外研究機関等の研究者との国際共著論文がある場合は必ず記載)
【論文 (査読あり)】

【著書・論文 (査読なし)】

- 山内真理・菅原典子・村上真紀・吉田由美子・日高・美奈子 (2021) CUC 選択科目の授業実報告—遠隔環境におけるコミュニケーション実践と ICT の有効活用—。千葉商科大学紀要, 51(1), 1-24.

【学会発表等】

- 山内真理 (2021) 教室での ICT 活用: With/After コロナの語学授業, ICT・オンラインで豊かな学びを保障する 第4回, 新英語教育 2021 年 7 月号 (2021 年 7 月号・第 623 号)
- Mari Yamauchi (2021) Using Google Forms and Kahoot to Help Students Learn Grammar and Vocabulary. Everyone Academy Online Seminar, 2021.12.5

3. 主な経費

書籍・論文・ストレージ・ソフトウェア

4. その他の特筆すべき事項 (表彰、研究資金の受入状況等)

(本文は 2 ページ以内にまとめること)